日本発のコーティング技術の実用化を推進

**－ 「先進コーティング研究会」入会の御案内 －**

2022年7月1日

一般社団法人 日本ファインセラミックス協会

はじめに

セラミックコーティング技術は、耐摩耗性、耐焼付き性、耐腐食性、耐酸化性に優れたセラミック膜をコーティングすることで製品の性能、寿命、使用範囲等を大幅に向上できるため、航空機や自動車産業でのエンジンの耐熱性改善の用途のみならず、工具や金型を始め機械部品、半導体部品、製造装置及び産業機械など幅広い分野に応用されています。

このような分野でのグローバルな高性能セラミックコーティング市場は、2013年に約6000億円（56億8000万ドル）と見積もられ、さらに、2014年から2020年まで7.0%の年間成長率（CAGR）が見込まれ、2020年に約１兆円（90億7000万ドル）に達すると予測されています。日本国内では、500～600億円規模の市場といわれていますが、現在、年率15～20％の伸びを見せており、地球温暖化対策の必要性の高まりとともに、蓄電池やパワーエレクトロニクスなどのエネルギー関連分野をはじめとして更なる用途展開と市場規模の拡大が続くものと考えられております。

この他、医療分野においても大きな市場が予測され、特に、健康長寿社会を実現する先進バイオセラミックスとしての，様々な生体親和特性を持つセラミックコーティングイノベーションへの貢献は、今後益々高まると期待されています。

このような背景により、一般社団法人日本ファインセラミックス協会は、従来のコーティング技術の研究開発に加えて、新しいコーティング技術の研究開発、試験・評価方法の標準開発等、日本でのセラミックコーティング技術の普及と技術的な課題克服の場として、「先進コーティング研究会」を運営いたします。

現在、広く使用されているセラミックコーティングは主に、酸化物コーティング、窒化物コーティング及び炭化物コーティングの三種類で、セラミックコーティングを適用するプロセスは、物理蒸着（PVD）、化学蒸着（CVD）及び溶射等があります。例えば、溶射技術分野では、高い成膜速度を維持しつつ、よりファインなSPS法、STS法などが微粒子溶射技術として一つのトレンドになりつつあります。

本研究会は、従来のコーティング技術では両立が困難であった、省エネ・省資源化と高機能・低コスト化を同時に可能とする国際競争力のある新規の高速・高機能コーティング技術や、各種微粒子溶射、低温溶射技術などを基軸に研究会、川上産業から川下産業まで幅広い関係企業がバリューチェーンに基づいたアライアンスを組織することで、コーティング市場の円滑な発展を図ります。また、海外のコーティングセンター、研究機関とも連携を図りグローバルな情報収集、情報発信ができる国内最大のコーティング拠点を目指します。

【会費】

・法人会員（何名でも登録可能）

入会金 １００，０００円

年会費 ２００，０００円

１００，０００円（ＪＦＣＡ会員）

・個人会員

年会費 １０，０００円

【入会申し込みについて】

入会希望の方は、入会申込書に必要事項をご記入の上、下記事務局あてにファックス・郵送、またはメールでお申込み下さい。会費振込みに関しては別途御案内させていただきます。

なお、本件につきまして何かご不明な点がございましたら、下記事務局へお問い合わせください。

■本件お問合せ先（事務局）

一般社団法人 日本ファインセラミックス協会 矢野友三郎

〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園２階

TEL 03-3431-8271 FAX 03-3431-8284

E-mail yano@jfca-net.or.jp